

VDEC だより

2018年
7月15日
第36号

- ◆ VDEC 新センター長 藤田先生より
- ◆ VDEC リフレッシュセミナーについて
- ◆ 平成 30 年度 CAD 利用分担金について

同じ内容は

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/Tayori/>
にも掲載されています。



VDECからの大事なお知らせです。

◆ VDEC 新センター長 藤田先生より



本4月1日より、浅田前センター長の後任としてセンター長に就任いたしました、藤田昌宏です。大規模集積システム設計教育センター(VDEC)は、1996年5月にスタートし、22年が経過しています。初代センター長、鳳教授、ならびに2代目センター長、浅田教授のリーダーシップの基、VDECは日本のアカデミアにおける半導体チップとデバイス試作において、非常に大きなユーザ数を持つ、日本全体にとって欠かせない組織に発展してきていると考えています。VLSIチップ試作およびそのための設計ツールの提供に対しては、年間300の研

究室に利用され、また各種デバイス試作のためのクリーンルームや関連施設・設備は、年間200近くの研究室に利用されるようになっています。

半導体産業は世界全体として継続的に成長しており、これからもIoT関連など、持続的な成長が予想されています。その土台となるアカデミアの研究開発を支援することは、極めて大きな責務であり、VDECの重要性はますます大きくなっています。海外にもVDECのような組織は米国、カナダ、ヨーロッパ、韓国、台湾などに、地域によっては複数あり、VDECと同様の使命を担っています。これらの組織間で毎年定例の会議を開催しており、お互いにアイデアを出しながら、VLSIチップやデバイス試作に関するユーザへのサービス提供に関し、世界レベルでの協調を進めており、今後より密な連携作業が進められる予定です。

また、寄付研究部門D2Tも設立から10年近くたち、海外から多数の客員教員が滞在し、教育・研究の両面で大きなインパクトを与えています。広い意味でのテストと設計をキーワードとした多くの研究が立ち上げられ、研究成果が生まれ、その産業界での利用も進んでいます。今後、VLSIチップとデバイス試作の両面に関連して、さらに活動を活発化する予定です。

VDECはこれまで大きく発展して来ていますが、今後は、従来のチップやデバイスの試作の範囲を超えて、情報系のリソースも取り込んだ、電子機器システム全体の研究開発の支援へと発展できればと考えています。そのためには、より大規模なチップ試作の効率化、商用利用も考慮した設計ツールの提供、VLSIチップ試作とデバイス試作の統合化などにも取り組んでいきたいと思っています。これからもご支援をよろしくお願いいたします。

藤田昌宏

◆ VDEC リフレッシュセミナーについて

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/Refresh/announce.html>

VDEC リフレッシュセミナーでは、集積回路産業に関わる職業人を対象として、VLSI 設計に関する最新の知識・技術の習得を目的とした設計教育コースを開催しています。本コースでは、各種設計手法の講義に加え、実際に簡単な集積回路を設計し、シミュレーションによる検証までを行う VLSI 設計演習を実施します。社会人または教育機関に在籍する教員・学生の

方の参加が可能です（ただし、コース V* は NDA の関係上、教育機関のみの参加とさせていただきます。）。国内の最高の講師陣を集めており、最新の設計技術教育に、自らのデザイン・スキル・アップに最適です。

（徐 祖楽）

今年度は下記のコースを開催しています。

MEMS設計と演習I -- 7月9, 10日

CMOS-RF集積回路設計と演習 -- 7月18, 19日

MEMS設計と演習II -- 7月23, 24, 25

VDEC 環境でのトランジスタレベル設計講習会 -- 8月9, 10日

VDEC 環境でのデジタル設計講習会 -- 9月11, 12日

◆ 平成 30 年度 CAD 利用分担金について

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CAD/announce.html>

既に皆様にお知らせさせて頂きましたとおり、平成28年度より CAD 利用分担金にご協力をお願いすることとなりました。また、平成 29 年度より、CAD 利用分担金をお申込み頂ける場合は、VDEC WEB よりお申込み頂くようにさせて頂いております。毎年度初めに CAD 利用申込み(新規・更新)をして頂いておりますが、その際に CAD 利用分担金申込みの WEB フォームが昨年度より追加されておりますのでご利用下さい。お申込みの際はユーザの皆様の所属組織の経理担当者の情報についてもご記入ください。

今年度第1回目の請求書ですが、7月初めに皆様に郵送させて頂いております。今年度の請求書発行は、

第2回目 2018年11月26日頃

第3回目 2019年 2月25日頃

を予定しております。お支払いは請求書送付後1ヶ月以内となっております。また、上記の請求書郵送時期については前後する可能性がございますことをご了承ください。請求書の郵送は本学の財務課が担当しておりますが、請求書発行のお申込みは財務課では受け付けておりませんので VDEC WEB よりお申込みください。

以上、何卒よろしくお願い申し上げます。

CAD 利用分担金に関する問い合わせ先：VDEC センター長室

CADuser メールが最近届かないと思われたら、、、

http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CAD/cad_MLregist.html

毎年度初めに CAD 利用申込み(新規・更新)をして頂いておりますが、VDEC の CADuser のメーリングリストを受信できていないといった問い合わせが複数ございました。CADuser のメーリングリストを毎年度受信頂くためには上記、「CAD 利用者のメールリスト登録ページ」の

「CAD 利用者 ML(CADuser @ vdec.u-tokyo.ac.jp) はここから行なって下さい。」のリンクより毎年度メールアドレスをご登録頂いて、卒業者や新入生のアドレスにご対応頂く必要がございます。現在のメーリングリスト登録者については、上記リンクよりご確認ください。

メールアドレスのご確認・ご登録を頂けなかった場合は、新年度一定の時期を経過するとメールアドレスの先頭に ¥ または \ の記号が付加されてメールが届かなくなります (特に昨年度から継続して同じメールアドレスをご使用の場合はご注意ください)。

CADuser のメーリングリストではユーザの皆様への大切なお知らせを日々ご連絡しておりますので、お手数ですがメーリングリスト登録者についてご確認・ご登録をお願いいたします。

VDECスタッフより…

今年 4月に特任講師として着任した徐祖楽です。

2008年に来日し、東北大(修士)、東工大(博士)、理科大(助教)を経験しました。研究と教えることが好きになり、大学教員という道を選びました。アナログ・デジタル混載集積回路の研究を行っています。一言といえ、消費電力を抑えながらノイズと非線形性に戦うという研究です。物理世界の限界まで挑戦するのが難しいですが、位相同期回路やデータコンバーターというものを基礎から先端まで初心者に伝えることも簡単ではないと思います。ですからこそ、どちらも有意義で工夫すべきことだと思います。

VDEC にてデザイアワード、デザインフォーラム、リフレッシュセミナー、夏と春の CAD 講習会をアレンジしており、忙しい毎日です。趣味は、まだ下手ながら、ヒップホップダンスです。音楽やファッションも味わえ、芸術とスポーツの間のことで、体だけでは

なく、精神的にも有益だと実感しています。仕事も個人生活も楽しむのは、いつも求めることです。

(徐 祖楽)

